

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (安芸太田町立戸河内小学校)

- ① 教科等 総合的な学習の時間 ② 学年 第4学年
 ③ 単元名 クリーンアップ戸河内
 ④ 本時の目標 友達のアドバイスを参考にして、廃油石鹼作りのチラシの表現の仕方の改善点を考えることができる。
 ⑤ 学習の流れ (19時間目/全20時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時のめあてを知る。	・本時までには下書きを完成させておく。 友達の工夫を参考にして、わかりやすいチラシを完成させよう。	
2 自分のチラシの紹介をし、友達からのアドバイスをもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介をするときのポイント <ul style="list-style-type: none"> ◇伝えたいことは何か。 ◇工夫したところはどこか。 ・友達のチラシを見るときのポイント <ul style="list-style-type: none"> ◇キャッチコピーは“読んでみたい”と思うものになっているか。 ◇伝えたいことがよく分かるか。 ◇絵や字が多すぎないか。 ◇全体が見やすくなっているか。 	
3 友達の作品の良い点を紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・書画カメラを使って作品をそのまま拡大提示させ、ペンタブレットを使って自分の考えを分かりやすく説明させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のアドバイスを参考にして、廃油石鹼作りのチラシの表現の仕方の改善点を考えている。 〔学習方法に関わる技能及び思考・判断力〕(作品)
4 友達の工夫点を参考にして、チラシを完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のチラシの工夫点を自分のチラシ作りに反映させる。 	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 調べたこと・聞いたこと・体験したことを、キャッチコピーや絵や図を使って分かりやすく表現することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 下書きの段階で、班やペアで互いの作品を見合い、相互評価をさせる。そのことを生かして自分のチラシを再考させ、自分のチラシをさらに分かりやすい表現にさせる。
 ○ 国語科で学習した「本の紹介ポスター」の学習を生かしてチラシに必要な事項を話し合い、その観点をもとに相互評価させる。